

彙 報

1990年度倫理学講義題目

〔講義〕

教授 内井 惣七 「倫理学概論」

〔研究〕

教授 内井 惣七 「分析倫理学の歴史と方法」

教養部教授 山本 誠作 「Whiteheadの宗教哲学とプロセス神学」

講師 塩出 彰 「アリストテレスの倫理思想」

講師 稲垣 良典 「中世の倫理思想」

〔演習Ⅰ〕

教授 内井 惣七 「R. M. Hare: Moral Thinking」

教養部教授 有福 孝岳 「Kant: Grundlegung zur Metaphysik der Sitten」

講師 塚崎 智 「Hobbes: Leviathan」

〔演習Ⅱ〕

教授 内井 惣七 「倫理学の諸問題」

〔講読〕

講師 大町 公 「Simone Weil: L'enracinement」

助手(哲学) 浜野 研三 「J. Searle: Minds, Brains & Science」

趣 旨

1. 実践哲学を再び哲学の主要テーマとして取り上げようという動向が近年顕著になりつつある。かかる思潮を鑑み、本会はここに『実践哲学研究』を発行する。
2. 実践哲学研究といってもその対象とする領域は広大多岐ではあるが、われわれ（京都大学倫理学科大学院生）は自らの研究を公けにすることによってそれぞれの領域から公正なる批判と判断をおおぎ、各自の問題意識を深めると同時に相互の交流を図ることを目的とする。

後 記

1. 本年もここに第13号をお届けすることができました。これもひとえに皆様方の貴重なご意見、ご批評と暖かいご援助の賜物と感謝いたしております。今後ともよろしくご指導のほどお願いいたします。
1. 本号掲載論文の合評会を下記の通り行ないます。ご参加いただければ幸いです。

日 時 1990年12月2日（日）午後1時より（5時終了予定）

場 所 京都学生センター（百万遍西南 tel. 771-6025）

1. 当会は賛助会員制度を設け、毎年多数の方々のご協力をたまわっています。ご協力に感謝いたしますとともに、そのお気持ちに報いるべく一層の努力をいたす所存です。本年度もご理解ご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。賛助会員の皆様には、当年度会誌一部をお送りしています。なお、賛助会費は年一口千円をお願いいたしております。

発行 实践哲学研究会

〒606 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部倫理学研究室内
郵便振替 京都 2-27560

発行日

1990年11月1日

事務局

京都大学大学院文学研究科哲学(倫理学)
大学院学生共同研究室

代表

内 井 惣 七

実践哲学研究

第13号

懐疑と自由 …………… 亀喜 信 (1)

——デカルトにおける知情意——

ベルクソンに於ける生と記憶 …………… 山下智志 (19)

本質と存在の問題 …………… 松王政浩 (31)

——ライプニッツ形而上学をめぐる——

彙報 …………… (51)

京都大学文学部倫理学研究室内

実践哲学研究会

STUDIEN ZUR PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE (DAS JISSENTETSUGAKU - KENKYU)

Nr. 13 November 1990

INHALT

Le doute et la liberté

—L'intelligence, la volonté et les passions
chez Descartes—..... Makoto Kameki (1)

La vie et la mémoire chez Bergson

..... Satoshi Yamashita (19)

Le problème de l'essence et de l'existence selon Leibniz

..... Masahiro Matsuo (31)

Verschiedenes..... (51)

VERÖFFENTLICHT UND HERAUSGEGEBEN VON
DER GESELLSCHAFT FÜR STUDIEN ZUR PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE
AN DER UNIVERSITÄT KYOTO
(KYOTO DAIGAKU JISSENTETSUGAKU - KENKYU - KAI)
KYOTO JAPAN